

授業科目間の平準化

IR作成の科目別GPCAを教員に示し、授業科目間の平準化を図っている。特に2023年度からは教務委員会でGP分布に偏りがいないか検討し、更に各学科でも検討を深めた。2021年度、2022年度とも看護学科の専門科目のGPCAが他の分野より極めて低い。一方医療介護福祉学科の専門基礎科目のGPCAが高い状況であった。また、両学科共通である基礎科目のGPCAも高い。授業科目間の成績評価の平準化の取組みにより、2023年度は基礎科目のGPCAが高い状況は続いているものの他の分野に近づき、医療介護福祉学科の専門基礎科目も同様に他の分野と同程度のGPCAとなった。看護学科の専門科目においてもGPCAが2点台と上昇し、成績評価の平準化が進んだ。

分野別GPCA 経年推移

(GPCAは0~4)

科目	2021年度通年			2022年度通年			2023年度通年		
	GPCA	合格率	対象科目	GPCA	合格率	対象科目	GPCA	合格率	対象科目
基礎分野(両学科共通)	2.97	95.8	25	3.12	98.0	20	3.02	94.8%	23
看護学科(NS)専門分野	1.91	94.3	55	1.87	96.7	53	2.05	96.6%	53
看護学科(NS)専門基礎分野	2.63	97.2	24	2.69	97.9	21	2.30	96.3%	22
医療介護福祉学科(CW)専門分野	2.68	95.8	52	2.64	98.1	53	2.57	93.4%	52
医療介護福祉学科(CW)専門基礎分野	2.83	96.8	9	2.64	97.9	8	2.39	96.3%	11
医療介護福祉科(CW)医療系分野							2.71	97.0%	16

分野別GPCA 経年比較

